

KHJ 福岡大会特集号

内容豊かな歴史的な大会

『来年は名古屋で大会』



植田、池田佳世理事長、甲木敏光、山本博司参議院議員（左から）

二日目、四戸先生司会の下での外田さん、大脇さん、鈴木さん、菊池まゆみさん、谷口仁史さんという現在最も注目されるお二人の人間性と示唆溢れる講演に感服、伊藤理事の司会で行われた支部長会議で厚労省日野徹さんと池田会長から当会と厚労省との直接連携が進んだ経過が語られ、山本博司議員の全体支援や「ひきこもり対策基本法（案）」への心強いご発言があり、夜の懇親会も大盛況でした。

この2日間思いました。自分たちの幸せと言うものから考えて行くと、お金ではない、そう言う事をもっともって考えて、今までの私たちの殻を破っていく努力をしなければと言う気がしております。

この長い一年間、私達は四苦八苦して、九州の宮崎、鹿児島、熊本、大分が集まり、今回の大会の目録を作りしました。国の新しい流れもあり、辛いなことに、皆さんが喜んで下さる大会になったことを心から感謝しております。

それは行政、本部の皆さん、全国の支援者の皆さんのご支援に寄るものでございまして、本当に心から感謝申し上げます。また、来年も皆さんとお目にかかりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。（大きな拍手）

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。

旅立ち

NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）代表 池田 佳世
第 71 号発行日 平成 25 年 11 月 10 日 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4
Tel 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 http://www.khj-h.com
Facebook : http://www.facebook.com/khj.ho / Twitter : http://twitter.com/hikikomori_khj

開会式は、宮崎「楠の会」の植田さんの司会で始まり、池田理事長は「KHJ は奥山代表が設立され、最初はいばらの道でした・・・全国当事者や家族は10年も20年も苦しんでいます。その方たちが少しでも元気になってもうために、KHJ 全国39支部が力を合せて活動しています。」

「今年は『新しい風』が国の方から吹いてきました・・・各県の親の会は夫々の自治体へ、親の会と連携して取り組むよう申し入れましょう。」と開会宣言、次いで、大会実行委員会会の「福岡、楠の会」の代表・甲木敏光さんの「よう

ん、境先生による最先端のシンポジウム、分科会からの移行は大成功でした。私は基調講演で270名の脱ひきこもり、80%の社会参加という10年かけての成果を報告させていただきました。

最後に池田会長「発声による『大会宣言』吉村さんの『親世代への呼びかけ』、そして植田さんの司会に至るまで全てこの上ない出来栄の大会、亡き奥山さんも宇宙で喜んでいてと思います。多くの参加者が情報と仲間と元気と新たな希望を得たという声が今聞こえてきています。

10年前にズブの素人集団からスタートした親の会が、このように素晴らしい大会を開催できるに至った事は誰にも信じがたい事でしょう。親の会は力をつけ、そして2日間

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。

9月28～29日

福岡市で延べ700名余の参加で開催

第八回 福岡大会

4氏から来賓挨拶、そして他の来賓と寄付者の紹介があり大会が始まりました。

大会は内容豊かな歴史的な大会になりました。紙面の都合で全体の紹介は出来ませんがそのハイライトを以下掲載します。なお、大会予稿集は、KHJのホームページで公開しておりますのでご覧ください。

厚労省課長様・荒英雄氏挨拶
ひきこもり問題など
社会の根源にある課題を
皆で考え解決を

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。

今回の福岡大会を引き受けるにあたり、大変、たいへん迷いました。昔、奥山さんが、杖を突きながら、福岡に来て下さって「ひきこもりって、何とかなるんだよ」から12年になります。私たちも何とかなるかなーと思いつながら、12年間、無駄な時間もかけたかなーと言う気持ちでした。

しかし、今日のお話まで来ますと、ふっと思った事です。が、厚労省の荒川さんもおつ

この2日間思いました。自分たちの幸せと言うものから考えて行くと、お金ではない、そう言う事をもっともって考えて、今までの私たちの殻を破っていく努力をしなければと言う気がしております。

この長い一年間、私達は四苦八苦して、九州の宮崎、鹿児島、熊本、大分が集まり、今回の大会の目録を作りしました。国の新しい流れもあり、辛いなことに、皆さんが喜んで下さる大会になったことを心から感謝しております。

それは行政、本部の皆さん、全国の支援者の皆さんのご支援に寄るものでございまして、本当に心から感謝申し上げます。また、来年も皆さんとお目にかかりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。（大きな拍手）

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。



大会事務局長・吉村さんの閉会の辞

しゃっていました。私達親自身が求めてきた価値観・幸福と言うものがお金ではなかったかと。家を建てたい、子どもに立派な教育を・・・。

この2日間思いました。自分たちの幸せと言うものから考えて行くと、お金ではない、そう言う事をもっともって考えて、今までの私たちの殻を破っていく努力をしなければと言う気がしております。

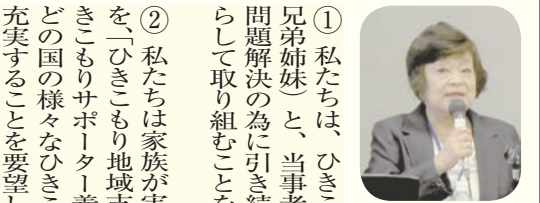
この長い一年間、私達は四苦八苦して、九州の宮崎、鹿児島、熊本、大分が集まり、今回の大会の目録を作りしました。国の新しい流れもあり、辛いなことに、皆さんが喜んで下さる大会になったことを心から感謝しております。

それは行政、本部の皆さん、全国の支援者の皆さんのご支援に寄るものでございまして、本当に心から感謝申し上げます。また、来年も皆さんとお目にかかりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。（大きな拍手）

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。

「貧困」は絶対的なものから相対的なものへ、最後に、資料の最後の頁の貧困問題です。この「貧困」は貧乏人とはわけが違います。現代社会においての「貧困」は絶対的なものから相対的なものに移っています。物とかお金が無いと言う「貧乏」が必ずしも「貧困」には繋がりますが、根底にあるのは、人間的関係性を失った、こうした関係性を回復しないと前には進みません。

第八回福岡大会宣言



私たちは第8回全代研福岡大会において以下の項を討議し決定したので、ここに宣言する。

- ① 私たちは、ひきこもり家族（親や兄弟姉妹）と、当事者が抱える様々な問題解決の為に引き続き創意工夫をこらして取り組むことを決意する。
- ② 私たちは家族が実践してきたことを、「ひきこもり地域支援センター」「ひきこもりサポーター養成派遣事業」などの国の様々なひきこもり関連事業が充実することを要望し見守る。
- ③ 私たちは、ひきこもり支援の年齢枠を撤廃し、ひきこもり対応事業が地域単位、市町村単位まで降ろされ、家族会と連携参画されることを要望する。
- ④ 私たちは、一貫したひきこもり対応が日本再生の鍵を担うと考え、「ひきこもり対策基本法」の制定を要望する。
- ⑤ 私たちは、以上の項目を官民協同して実現し、共生社会・つながり社会の創出を担うことを決意する。

●手作りがあつたのがよかった ●全国各地に悩んでいる人がいるね ●耕田さんの話に納得 ●なでしこのエンディングノート？ ●作成の話がよかった ●菊池さん、谷口さんの話がよかった ●菊池さんのお人柄がとてもいい印象だった ●こんな人がいるといいなと思った。 ●家族の努力が必要だと解った、楠の会に入会する ●（兄弟姉妹の会に参加した人）このような会があるのはありがたい。福岡でも作って ●若者の集いに親が子どもの様子を

月例会に参加して気を楽しんだり情報交換しませんか

問合せ NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会） ☎ 03-5944-5250

- 関東ブロック**
NPO 法人桑の会リーラ（市川乙允） ☎ &FAX 03-5944-5730
KHJ 西東京「萌の会」（井手 宏） ☎ 090-8452-8810 ☎ &FAX 03-5397-5372
NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会（田口ゆりえ） ☎ &FAX 048-651-7353 ☎ 080-3176-6674
NPO 法人 KHJ 千葉県の花会（藤江幹子） ☎ 090-8491-0971
KHJ 神奈川「虹の会」（安田賢二） ☎ 080-2107-1171
NPO 法人 KHJ 栃木県「ベリー会」（齋藤三枝子） ☎ 090-1846-4004 FAX 028-663-5022
グループコスモス（瓜生 武） ☎ &FAX 03-3728-4488 ☎ 080-3255-4161
KHJ 静岡県「いっぽく会」（上杉博美） ☎ 090-5036-2552 ☎ &FAX 054-245-0766
NPO 法人てくてく（山本洋見） ☎ 053-442-6365 ☎ 090-1416-6224
- 東海ブロック**
NPO 法人東海なでしこの会（大脇正徳） ☎ 090-4195-2674 ☎ &FAX 052-882-1119
NPO 法人名古屋オレンジの会（鈴木美登里） ☎ &FAX 052-459-5116
- 北陸ブロック**
NPO 法人 KHJ にいがた「秋桜の会」（三膳克弥） ☎ 090-4017-2889 ☎ &FAX 025-382-6912
KHJ 北陸会（事務局） ☎ &FAX 076-252-4856
とやま大地の会（山岡和夫） ☎ 090-3768-1733 FAX 076-429-5886
- 近畿ブロック**
NPO 法人京都オレンジの会（稲垣 緑） ☎ &FAX 075-752-0289
NPO 法人大阪虹の会（前川 実） ☎ &FAX 072-265-2021
- 九州・沖縄**
KHJ 福岡県「楠の会」（吉村文恵） ☎ 090-8222-7403 ☎ 092-731-3091
FAX 092-864-7188
NPO 法人熊本ランチ（武井敬敏） ☎ 096-322-3548 FAX 096-322-3787
KHJ みやざき「楠の会」（植田美紀子） ☎ 090-9603-8780 ☎ &FAX 0985-53-2666
KHJ 鹿児島県「楠の会」（福留順一） ☎ 090-7156-6241 ☎ &FAX 0993-38-1421
NPO 法人 KHJ 大分県「大分ステップの会」（松本太郎） ☎ 090-1163-8582
サポーターセンターゆめさき（上田紫寿江） ☎ 098-930-1066 FAX 098-930-1068

